

わ く わ く

9月号

本 だ な

1 2 3 年



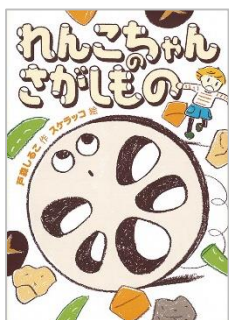
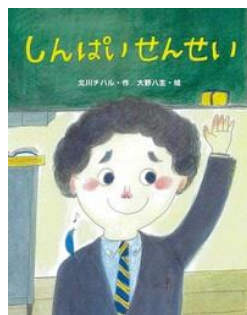
E 『 ^{そら}空と^{うま}ぶ馬と^{しちにん}七人のきょうだい ^{ほくとしちせい}モンゴルの北斗七星のお話 ^{はなし}』
 イチノロブ・ガンバートル／文 バーサンスレン・ボロルマー／絵
 津田紀子／訳 廣済堂あかつき
 モンゴルのそうげんに、うつくしい7人のおうじよさまがいました。
 あるひ、おうじよたちが、とりのおう・ハンガリドにつれさられてしま
 います。おうさまは、そうげんでいちばんかしこいおじいさんの7人
 のむすこたちに、おうじよたちをたすけるよいいました。

えほん

K913 『 しんぱいせんせい 』

北川チハル／作 大野八生／絵 佼成出版社
 たつやのたんになのせんせいは、いつも「だいじょうぶかいなあ」としんぱいばかりしています。たつやは、そんなせんせいのことがすこしにがてでした。みんなでえんそくにいったひ、かさをなくしたせんせいに、たつやはおもいきってこえをかけました。

ものがたり



K913 『 れんこちゃんのさがしもの 』

戸森しるこ／作 スケラッコ／絵 福音館書店
 れおくんは、りょうりがだいすき。今日のメニューは、れんこんのものです。れおくんがれんこんをきると、ふしぎなことに、れんこんがしゃべりだしました。しかも、「にものになるのはいやっ」といって、にげだしてしまつたのです。

ものがたり

E 『 ひとつくつたどうぶつ^{みち}の道 』

キムファン／文 堀川理万子／絵 ほるぷ出版
 もりにすむどうぶつは、なかまやえさをさがすために、道^{みち}をわたろうとして、くるまにひかれてしまうことがあります。
 じこにあうどうぶつをへらすために、にんげんたちがちえをだしあい、とくべつな道をつくりました。

ちしきのほん



わ く わ く

9月号



本 だ な

4 5 6 年



物語

K913 『 トムと3時の小人 』

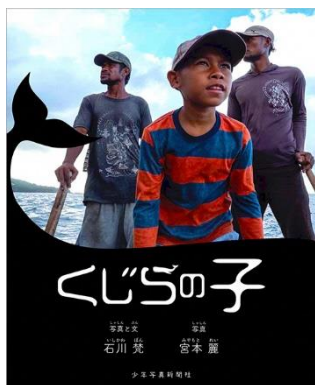
たかどのほうこ／作 平澤朋子／絵 ポプラ社
つとむは、古道具屋で『トムと3時の小人〈下〉』と書いてある赤い本を見かけます。図書館に行ってみると、同じ題名の青い本がありました。それはトムという男の子と、はと時計の中に住むいたずら好きの小人のお話でした。

つとむは、古道具屋にあった赤い本も読んでみたいと思い、お店に向かいます。するとそこで、ふしぎなことがおこったのです。

K913 『 月にトンジル 』

佐藤まどか／作 佐藤真紀子／絵 あかね書房
トール、ダイキ、シュン、マチは、小さいときから「テツヨン」とよびあう仲良し4人組です。ところが、ダイキが遠い町に引っこしてしまいました。トールは「テツヨン」の友情はかわらないと信じていましたが、残った3人も、だんだんいっしょに集まるのが少なくなっていきます。ダイキが遊びに帰ってきた日、ついにトールたちはおおげんかをしてしまいました。

物語



ちしきの本

K664 『 くじらの子 』

石川梵／写真と文 宮本麗／写真 少年写真新聞社
エーメンが住むインドネシアの村では、400年にもわたってくじら漁がおこなわれています。この村では作物がじゅうぶんに育たないので、まずしいひとにも全員に食べ物がいきわたるように、大きなくじらをねらうのです。

くじら漁の季節になり、エーメンのお父さんたちは手作りのふねにのりこんで、海へと出発しました。

図書館のまどぐちには、くみだてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200